

追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

【愛称: ユーロスター・プレミアム】

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2019年11月13日

平素より、「三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称: ユーロスター・プレミアム】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2019年11月13日に第89期の決算を迎え、当期の分配金(1万口当たり、税引前)を前期の70円から40円に引き下げましたことをご報告申し上げます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 分配金と基準価額(2019年11月13日)

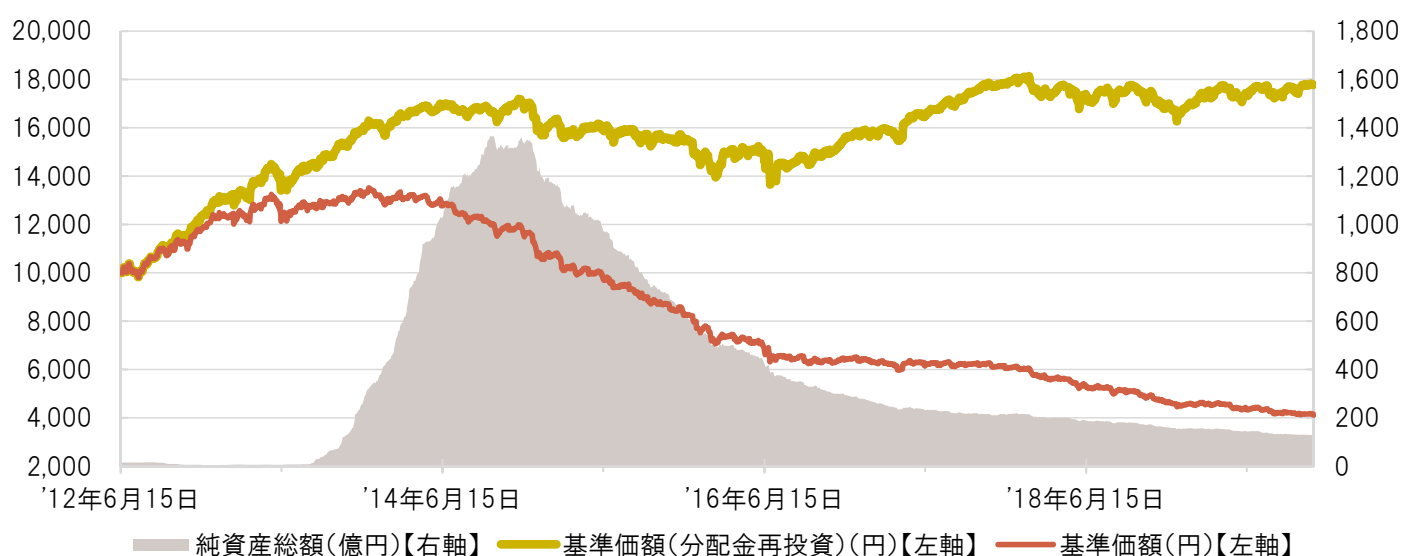
分配金(1万口当たり、税引前)	40円
基準価額(1万口当たり、分配落ち後)	4,122円

## 【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第85期 (2019年7月)	第86期 (2019年8月)	第87期 (2019年9月)	第88期 (2019年10月)	第89期 (2019年11月)	設定来累計
70円	70円	70円	70円	40円	12,000円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## 基準価額の推移(期間: 2012年6月15日(設定日)~2019年11月13日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 分配金引き下げについて

当ファンドは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行う通貨カバード・コール戦略により利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行っておりますが、これまでの分配金のお支払い等により基準価額は2019年10月31日時点で4,161円となっております。

上記の基準価額水準や、欧州主要国の金利低下およびスプレッド(国債との利回り格差)縮小を受けた、欧州ハイイールド債券の利回り低下等の市況動向と、その影響を受ける分配原資の状況等を総合的に勘案し、分配金の水準を下げて信託財産の成長を図ることが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、分配金の引き下げを行うことといたしました。

## 2019年初来の市場環境と当ファンドの運用状況

## 【欧州ハイイールド債券市場】

～年初来で見ると、堅調推移～

2019年初以降、米連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)が金融政策の緩和的姿勢を示したこと等を受けて欧州主要国の金利が低下したことや、米中通商協議や英国の欧州連合(EU)離脱問題の進展等が投資家心理を支えたこと等を背景にスプレッドが縮小したこと等がプラス要因となり、欧州ハイイールド債券市況は堅調に推移しました。

## 【為替市場(ユーロ(対円))】

～年初来で見ると、ユーロは対円で下落～

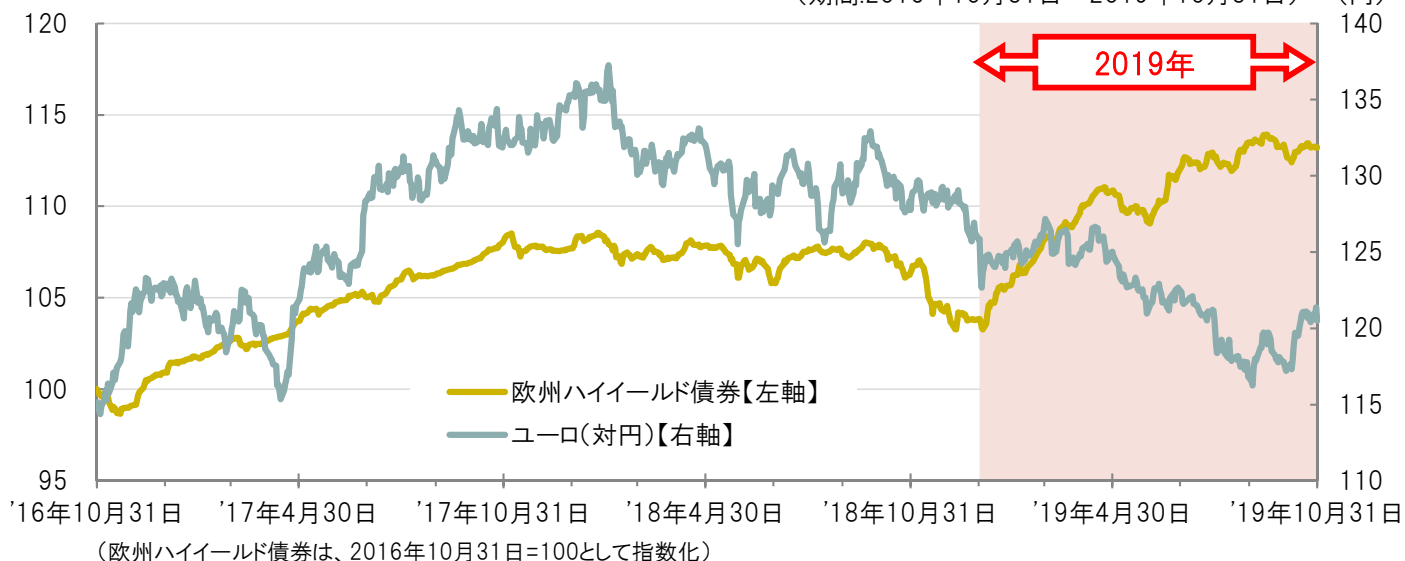
2019年初から8月下旬にかけては、ECBが金融緩和の姿勢を示したこと等を背景に、ユーロは対円で下落しました。その後、英国の欧州連合(EU)離脱問題の進展等を受けてユーロが対円で上昇したものの、2019年初来で見ると、ユーロは対円で下落しました。

(UBSアセット・マネジメント株式会社のコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)

(2019年10月31日現在)

## 欧州ハイイールド債券(ユーロベース)と為替市場(ユーロ(対円))の推移

(期間:2016年10月31日～2019年10月31日) (円)



※ 欧州ハイイールド債券=ICE BofAML 欧州ハイ・イールド・コンストレインド指数 (出所)Bloombergのデータより三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 2019年初来の市場環境と当ファンドの運用状況(続き)

## 【運用状況】

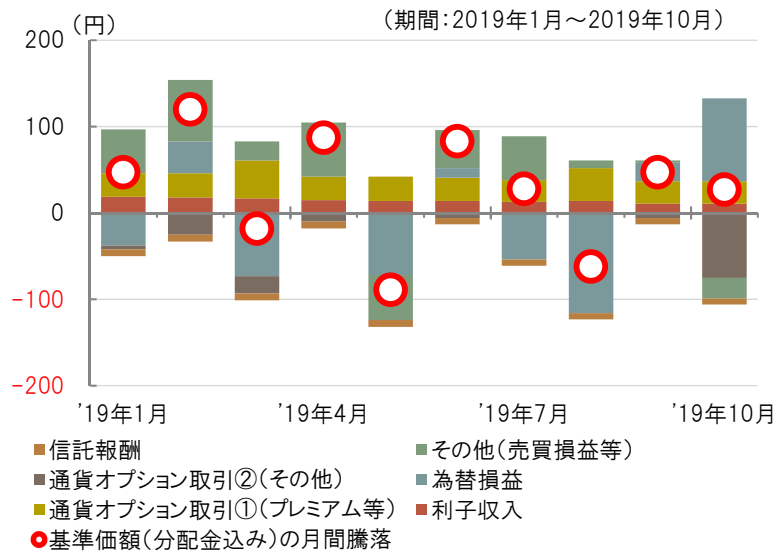
2019年初来、当ファンドは、国別配分で、イタリアなど相対的に低い格付国の銘柄の組入れを市場対比少なめとし、また業種別配分では景気変動の影響を受けやすいと考える素材、自動車セクター等の保有比率を市場対比で概ね低めとし、割安な個別銘柄が多く含まれると判断している金融サービス、ヘルスケアセクター等の保有比率を市場対比で概ね高めとしました。

格付配分においては、割高と見られるBB格の保有比率を市場対比で低めとし、B格の保有比率を高めとしました。

このような運用を行った結果、ユーロが対円で下落したこと等がマイナスとなったものの、欧州ハイイールド債券市況が上昇したことや、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアムを享受したこと等がプラスとなり、当ファンドの基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

(UBSアセット・マネジメント株式会社のコメントを基に  
三菱UFJ国際投信作成)  
(2019年10月31日現在)

## 基準価額の変動要因分析(月次概算値)(分配金込み)



- ✓ 通貨オプション取引のうち、①は、オプション・プレミアム収入を簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。②は、権利行使に伴う損失を簡便的に算出したものであり実際の値とは異なります。
- ✓ 為替損益は当該ファンドに係る為替評価損益の概算値です。
- ✓ その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み、前月比)の騰落から利子収入、通貨オプション取引部分①、②、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ✓ 四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

・上図の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解頂くために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・上図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。

## 今後の市場見通しおよび運用方針について

## 【債券市場の見通し】

欧州ハイイールド債券市場は、世界経済の減速懸念等を受けて不安定となる可能性があることについては、引き続き注意が必要です。

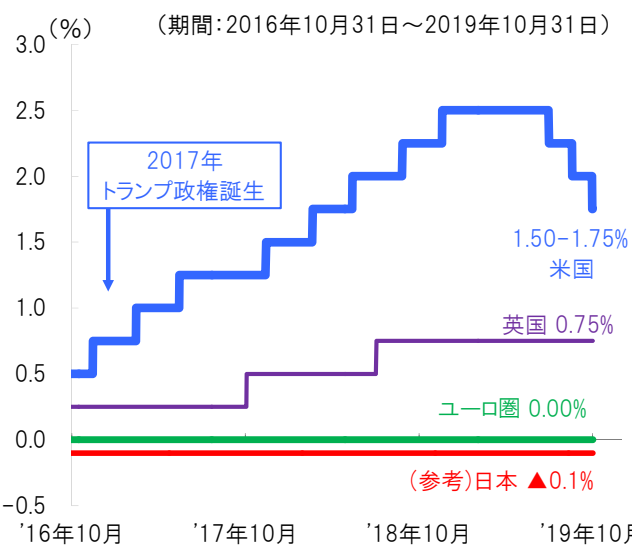
一方、インフレ期待が後退する中で、米欧の中央銀行が経済指標を重視し、金融緩和姿勢を維持していること等は、欧州ハイイールド債券市場にとってプラスになると見えています。

## 【運用方針】

こうした環境下、引き続き、専任クレジットアナリストによるボトムアップ分析を最大限に活用し、業種・個別銘柄選択を慎重に行う方針です。

(UBSアセット・マネジメント株式会社のコメントを基に  
三菱UFJ国際投信作成)  
(2019年10月31日現在)

## 欧米政策金利の変化



※ 米国はFF目標金利(レンジ上限値で図示)、ユーロ圏はリファイナンスレート、英国はバンクレート、日本は政策金利残高適用金利。

■ 市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 【ご参考】当ファンドのポイント

## 1 ユーロ建てのハイイールド債券\*1が主な投資対象

- 主としてUBSアセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用する円建外国投資信託への投資を通じて、実質的な運用を行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

\*1 ハイイールド債券とは、格付会社(S&P、Moody'sなど)によりBBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。



## 2 オプション・プレミアム収入の獲得をめざす(ユーロのコール・オプション\*2(対円)を売却)

- ファンドはユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を実質的に行います。これにより、一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。

\*2 コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。

満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。

ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建ての外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスが行います)。

コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

## 3 原則、毎月13日に分配

- 原則として、毎月13日(休業日の場合は翌営業日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。

## 4 UBSアセット・マネジメント株式会社に運用の指図に関する権限を委託

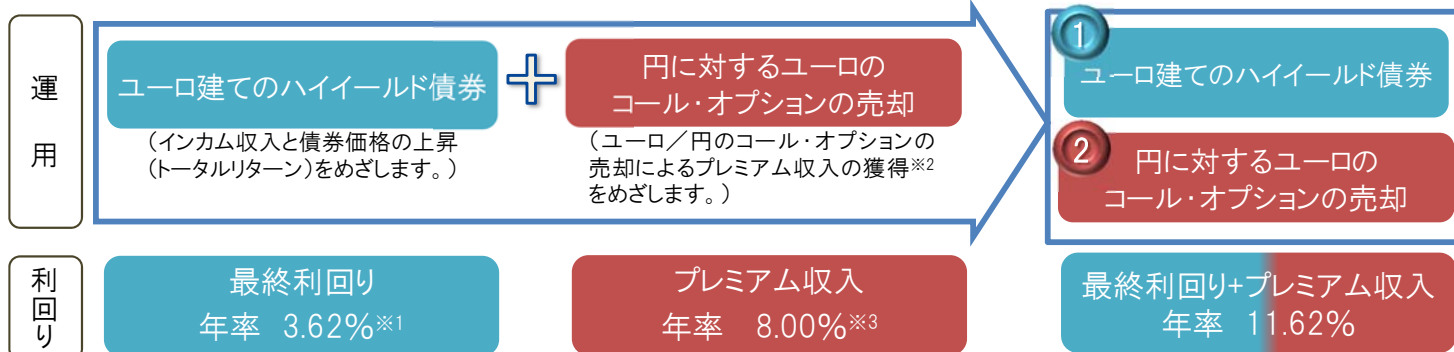
- UBSアセット・マネジメント・グループは、スイスに本拠を置くUBSグループの資産運用部門であり、グローバルな資産運用グループです。UBSアセット・マネジメント株式会社は、同グループの日本現地法人です。

運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

## 「ユーロスター・プレミアム」の運用手法 ～通貨カバード・コール戦略～

- 「ユーロスター・プレミアム」は、通常のハイイールド債券の投資による収益(利子収入の獲得と、価格上昇による値上がり益獲得の期待)に加えて、「通貨カバード・コール戦略」を採用することにより、さらに収益を上乗せすることをめざすファンドです。
- 当ファンドの「通貨カバード・コール戦略」とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて「円に対するユーロのコール・オプション」を売却し、オプション・プレミアム収入の獲得をめざす戦略です。

## &lt;ユーロスター・プレミアムの運用イメージ&gt;



\*1 当ファンドが投資している外国投資信託の2019年10月末前営業日基準の最終利回り(加重平均)です。

\*2 当ファンドでは、プレミアムが原則として年率8%となる水準でコール・オプションを売却しますが、市況環境によっては下回る場合もあります。

\*3 オプション・プレミアムは月末の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です(約定ベース)。(2019年10月31日現在)

- ・ 当ファンドは、通貨カバード・コール戦略を採用することにより、ユーロ高/円安時に一定以上の為替差益を放棄しオプション・プレミアム収入を得ますが、ユーロ安/円高時には為替差損を被る可能性があります。
- ・ また、通貨カバード・コール戦略を採らない場合と比べて、円安によるユーロ建て資産の為替差益はオプション取引相手の権利行使による損失で相殺されるため、円安メリットによる収益は得られないことがあります。

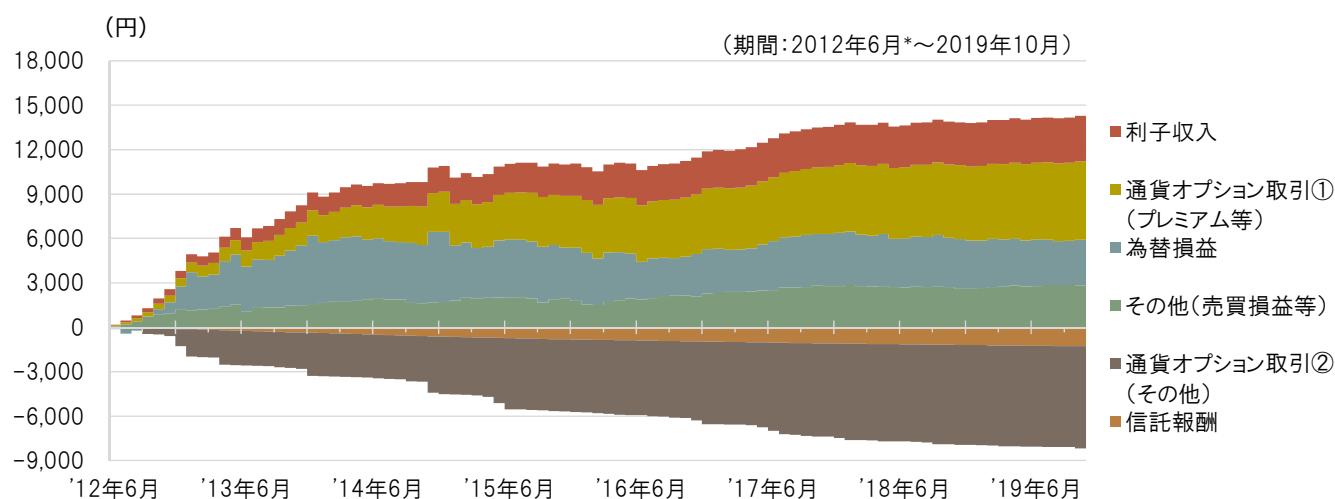
■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 【ご参考】当ファンドのポイント(続き)

## 基準価額(分配金再投資)と変動要因分析(累積概算値)の推移

- 基準価額の変動要因についてみると、通貨オプション取引の権利行使に伴う損失がマイナスに働いたものの、利子収入やオプション・プレミアムを着実に享受していることがプラス要因となっています。



\* 2012年6月は2012年6月15日(設定日)から同6月末の値。

- ・ 上記の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。
- ・ 上のグラフにある基準価額(分配金再投資)は、分配金をファンドに再投資して運用したと仮定して計算しています。一方、下の変動要因(累積概算値)のグラフは、毎月の基準価額の変動と分配金の合計額について、その変動要因を足しあげた値を表示しており、分配金の再投資は考慮していません。したがって、基準価額(分配金再投資)の増減と各変動要因の合計額とは一致しません。
- ・ 通貨オプション取引のうち、①は、オプション・プレミアム収入を簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。②は、権利行使に伴う損失を簡便的に算出したものであり実際の値とは異なります。
- ・ 為替損益は当該ファンドに係る為替評価損益の概算値です。
- ・ その他(売買損益等)は、毎月の基準価額の変動と分配金の合計額から利子収入、通貨オプション取引部分①、②、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。

## 【本資料で使用している指数について】

## ■ 欧州ハイイールド債券:ICE BofAML 欧州ハイ・イールド・コンストレインド指数

ICE BofAML 欧州ハイ・イールド・コンストレインド指数とは、ICE Data Indices, LLCが算出する、ユーロ債券市場もしくはユーロ圏の国内で発行されたユーロ建てのハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 通貨カバード・コール戦略とは

ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。一方、ユーロ安円高が進んだ場合には、為替差損が発生することになります。くわしくは、下の図をご覧ください。

## オプション満期時におけるコール・オプションの売却による効果(ファンドのケース、為替部分のイメージ)

満期時の為替水準	「ユーロ建てハイイールド債券」の為替差損益	円に対するユーロの「コール・オプションの売却」による損益	
<b>ケース①</b> 取引時点より円安・ユーロ高となり権利行使価格を上回った場合	為替差益(円安相当分)*1	プレミアム収入	権利行使に伴う損失*2
<b>ケース②</b> 取引時点より円安・ユーロ高となったものの権利行使価格未満の水準にとどまった場合	為替差益(円安相当分)	プレミアム収入	—
<b>ケース③</b> 取引時点より円高・ユーロ安となった場合	為替差損(円高相当分)*3	プレミアム収入	—

\*1 「ユーロ建てハイイールド債券」の運用自体においては為替差益が期待されるものの、コール・オプションの売却を組み合わせることで上値が限定されます(権利行使に対応した支払いが生じます)。

\*2、\*3 プレミアム収入を上回る損失が発生する可能性もあります。

- ・ ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。
- ・ 上記は通貨カバード・コール戦略の全てを説明したのではなく、場合により該当しないことがあります。
- ・ ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。
- ・ ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。
- ・ 上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

## 通貨カバード・コール戦略における「為替水準」の変化と「基準価額(為替による影響部分)」の関係

通貨カバード・コール戦略では、コール・オプションが満期(下表の例では1ヵ月後)を迎えた場合、そのコール・オプションは清算されて消滅し、新たなコール・オプションを売却することになりますが、為替が短期的に大きく上昇・下落してコール・オプションが満期を迎え、その後為替が元の水準に戻った場合でも、基準価額が元の水準を下回ることがあります。

## 為替水準の変動によって基準価額(為替による影響部分)が影響を受けるケース(イメージ)

◎下記イメージは、ユーロ建てハイイールド債券のパフォーマンス、インカム収入等は考慮していません。

		緩やかな変動となった場合 (「105円 → 104円 → 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)			急激に変動した場合 (「105円 → 100円 → 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)		
当初～ 1ヵ月後の 状況 (イメージ)	為替レート	当初	1ヵ月後	/	当初	1ヵ月後	/
	行使価格	105円	104円		105円	100円	
	オプション・ プレミアム	107円	106円		107円	102円	
		0.7円	0.7円		0.7円	0.7円	
当初～ 1ヵ月後、 1ヵ月後～ 2ヵ月後 および 累計の損益 状況 (イメージ)	為替レート	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計
	為替相場の状況	104円	105円		100円	105円	
	債券部分の 為替差損益	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず
	オプション・ プレミアム	-1円	1円	0円	-5円	5円	0円
	オプション被行使 による損失	0.7円	0.7円	1.4円	0.7円	0.7円	1.4円
		—	—	—	—	-3円	-3円
損益合計		-0.3円	1.7円	1.4円	-4.3円	2.7円	-1.6円

オプション・プレミアムによる  
収益獲得

オプション・プレミアムでカバーできず、  
損失が発生

実際の運用においては、当該ケースのような極端なカイ離が発生するリスクを抑制するために、コール・オプションの満期日や権利行使価格を分散して投資する等の対応を行います。

## ※シミュレーションに関する留意事項

上記は通貨カバード・コール戦略による損益をイメージしていただくために下記の仮定に基づき算出したシミュレーションです。

実際の運用におきまして、プレミアム・行使価格は為替相場の変動に伴い大きく変化することにご留意ください。

・プレミアム: 為替レートに対し、ターゲットの年率8%の1ヵ月分

・行使価格: コールオプション売却時の為替レートに対し2円高い価格で売却

・ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券等の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

・ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で行うことがあります。そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。

・上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託から分配金が支払われるイメージ

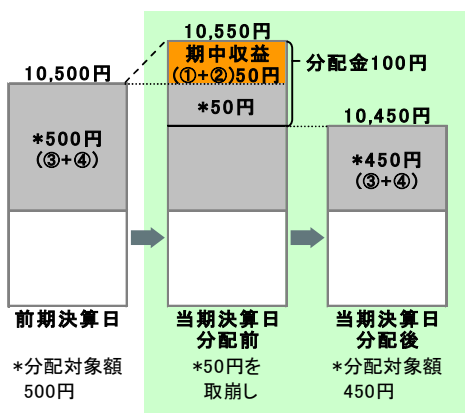


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

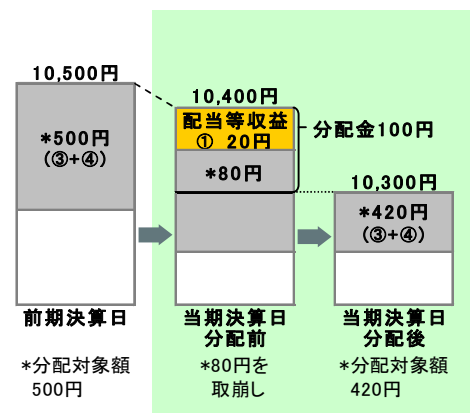
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



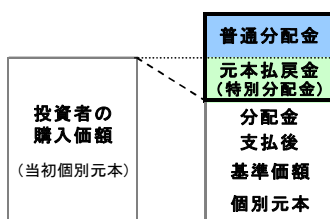
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

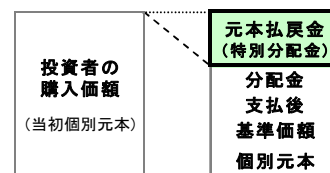
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分には非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

## 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

### [金額を指定して購入する場合](購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

### [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。



# 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

## 〈愛称:ユーロスター・プレミアム〉

追加型投信／海外／債券

### ファンドの目的・特色

#### ■ファンドの目的

ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

#### ■ファンドの特色

**投資対象** ファンドはユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を実質的に行います。これにより、一定以上の為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。

・コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

#### ハイイールド債券とは

ファンドが投資対象とするハイイールド債券とは、格付会社(S&Pグローバル・レーティング(S&P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。

一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。

つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。

#### 〈コール・オプションとは〉

コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。

この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。

当該コール・オプションの満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。

このように、取引における最終的な損益は、オプション・プレミアム収入に、権利行使に伴う損失を加味して考える必要があります。

ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。

そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建ての外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスが行います)。

#### 〈通貨カバード・コール戦略とは〉

ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。

ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。

ファンドの損益は、通貨カバード・コール戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。

**為替対応方針** 原則として、対円での為替ヘッジを行いません。

#### ■ファンドの仕組み

・運用はファンド・オブ・ファンズ方式により行います。

#### 〈投資対象ファンド〉

ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラス

マネー・マーケット・マザーファンド

**運用方法** 投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

**運用の委託先** 三菱UFJ国際投信は、投資信託証券への運用の指図に関する権限をUBSアセット・マネジメント株式会社に委託します。

#### ■分配方針

・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。

・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

# 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

## 〈愛称:ユーロスター・プレミアム〉

追加型投信／海外／債券

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

<b>価格変動 リスク</b>	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行うため、円安・ユーロ高や対円でのユーロの価格変動率が上昇すること等によるコール・オプションの価格の上昇は、基準価額の下落要因となります。
<b>為替変動 リスク</b>	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。「通貨カバード・コール戦略について」 ファンドは実質的にユーロ建ての債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行います。これにより、円安・ユーロ高による為替差益の一部または全部がオプション取引に伴う損失によって相殺される場合があります。
<b>信用 リスク</b>	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
<b>流動性 リスク</b>	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

#### ■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・オプション取引の満期日をまたいで円に対するユーロの価格が大きく変動した際には、その後当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。
- ・円に対するユーロの価格が大きく下落する中でファンドへ大量の資金流入が発生した際には、その後円に対するユーロの価格が当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

## 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型) (愛称:ユーロスター・プレミアム)

追加型投信／海外／債券

### 手続・手数料等

#### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2021年7月13日まで(2012年6月15日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型) (愛称: ユーロスター・プレミアム)

追加型投信/海外/債券

## 手続・手数料等

### ■ファンドの費用

#### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

#### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.221%(税抜 年率1.11%)</b> をかけた額
運用管理費用 (信託報酬)	投資対象とする 投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して <b>年率0.83%</b> (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)
	実質的な負担	当該ファンドの純資産総額に対して <b>年率2.051%程度(税抜 年率1.94%程度)</b> ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。  
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

#### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

#### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第43号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
UBS証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号	○	○	○	○
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に\*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。